

総括票

1. 申請者に関する事項

申請代表者名	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 Pola Museum of Art, Pola Art Foundation	代表者氏名	館長 木島 俊介 Shunsuke Kijima, Director
申請代表者住所	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙谷原小塚山1285		

その他の申請者（申請代表者以外の展覧会主催者）

申請者名		代表者氏名	
申請者住所			
申請者名		代表者氏名	
申請者住所			
申請者名		代表者氏名	
申請者住所			

2. 公開予定施設等に関する事項

施設名	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 Pola Museum of Art, Pola Art Foundation	公開期間	令和2年11月14日 — 令和4年9月30日
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285		

3. 指定を受けようとする海外の美術品等に関する事項

美術品等の公開目的	
「Connections—海を越える憧れ、日本とフランスの150年」展は、19世紀後半に始まるジャポニスムから20世紀に活躍したレオナルド・フジタまで、日本とフランスという二つの国の芸術が織りなした「美の往還」を辿る展覧会である。指定対象の作品は、黒田清輝や岡田三郎助らの師であるラファエル・コラン(1850-1916)の作品である。1900年パリ万博の会場で本作品を目にした黒田清輝が代表作《野辺》(1907年、ポーラ美術館)を手掛けるなど、日本近代の裸婦像の展開を考える上で極めて重要な作品と考えられてきた。長年所在不明であった本作品が近年パリで発見され、本展において120年ぶりに公開及び日本で初公開されることの意義は極めて大きい。また、企画展終了後には常設展（特別企画「ラファエル・コランと黒田清輝—120年後の邂逅」）においても黒田の作品と並べて紹介され、日本近代美術におけるコランの重要性が改めて認識される機会となる。	
美術品等の名称（タイトル）	
眠り The Sleep	

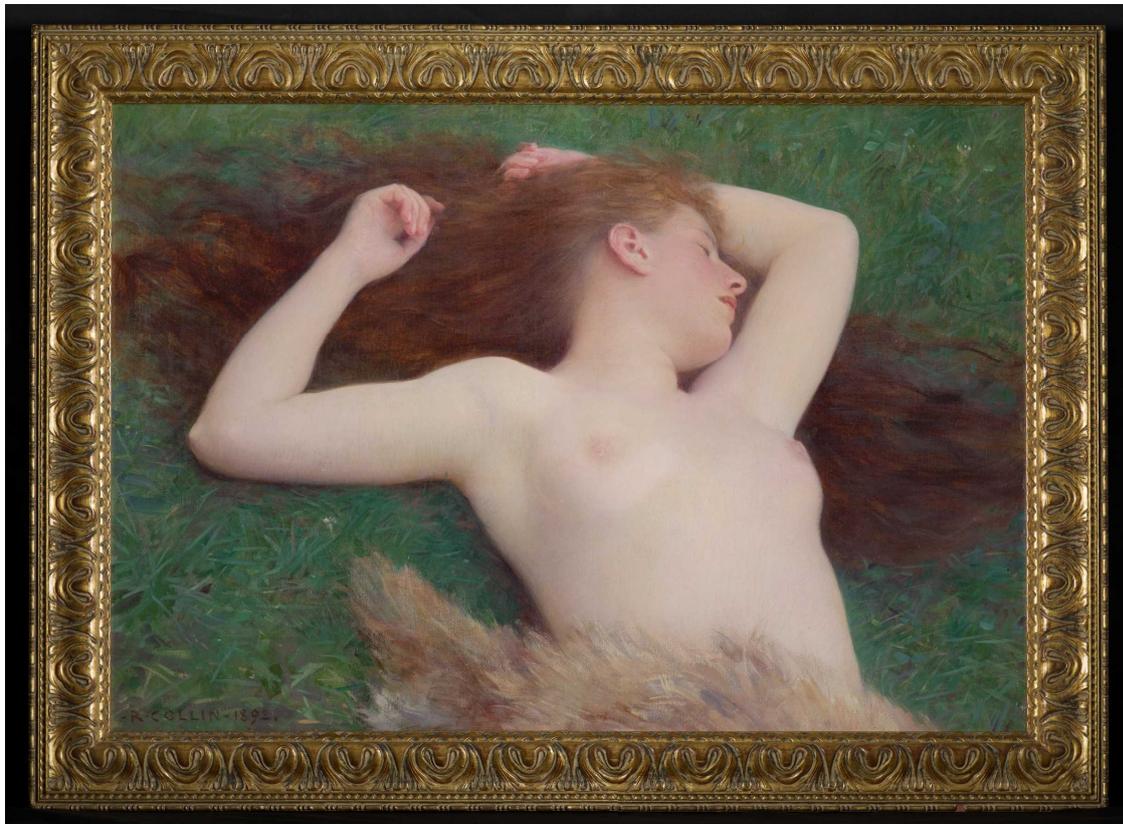
個票

1. 個々の美術品等の作品情報

タイトル (名称)	眠り The Sleep	員数	1
作者名	ラファエル・コラン	作成年 作成時期	1892年
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 絵画 <input type="checkbox"/> スケッチ <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 陶磁器 <input type="checkbox"/> 彫刻 <input type="checkbox"/> 工芸品 <input type="checkbox"/> 書跡・典籍 <input type="checkbox"/> 化石 <input type="checkbox"/> 岩石, 鉱物, 植物又は動物の標本 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)		
寸法等	油彩/カンヴァス、65.5 x 93.0 cm		
その他の 特徴			

2. 個々の美術品等の写真

(撮影年月：2020年5月)



※画像を収めたCD-ROMやUSBメモリ等も提出すること。

※美術品等の外形的特徴が分かるよう、必要に応じて、正面、側面、背面、上部等の複数方向から撮影した画像や、美術品等の特徴的な部分を撮影した画像を添付すること。

※指定を受けた場合、美術品等の画像は文化庁ホームページに掲載されるとともに、関係機関に通知等されるので、美術品等の所有者及び著作権者には予めその旨の許諾を取ること。